トレーサビリティ

2.3 マスバランス

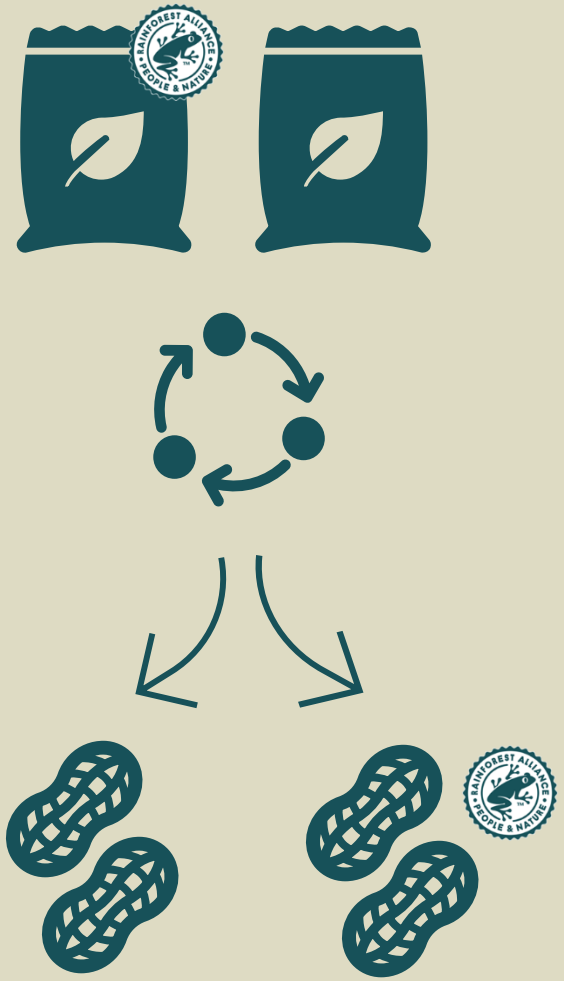
このトレーサビリティの種類を許可された作物で、マスバランス（MB）を適用する認証保有者に適用される。

マスバランス（MB）

製品によっては、サプライチェーンや製造工程が非常に複雑で、**認証** 製品と**非認証**製品を**完全分離**（SG）することが論理的に**困難**であったり、**コストがかかる**ものがあります。

マスバランス（MB）のトレーサビリティの種類は、複雑なサプライチェーンを持つ作物部門が認証プログラムに 参加することを可能にします。

マスバランス（MB）の下では、**認証 製品と 非認証製品の両方を一緒に加工すること**ができ 、認証されたインプットと同等の量を認証されたアウトプットとして表示することができます 。



参照：付属文書 トレーサビリティ

2.3 マスバランス

トレーサビリティの種類でマスバランスを許可されている農作物にマスバランスを適用する認証保有者に適用される。

番号	基本要件	団体認証			個別認証
		小規模農場	大規模農場	団体責任者	小規模/大規模
2.3.1	数量は、実際に発生する可能性のある手順に対してのみ転換される。転換した製品を以前の製品に戻すことはできない。 参考資料：「A-05-SCRL-B-CH 付属文書 トレーサビリティ」			✓	✓
2.3.2	マスバランスとして販売される数量は、認証済みとして購入された数量で100%カバーされている。数量の残高がマイナスになることは、いかなる時も認められていない。			✓	✓
2.3.3	マスバランス数量は、認証保有者間で移動する場合、常に物理的な出荷が伴うものとする。物理的な出荷を伴わない数量取引は、同一の認証を受けている圃場/施設間でのみ認められる。			✓	✓
2.3.4	認証済みとして販売される数量は、原産国情報の最小パーセンテージ要件を満たさなければならない。この要件は、オリジン・マッチング規則が義務付けられているカカオのマスバランス製品にのみ適用される。 参考資料：「A-05-SCRL-B-CH 付属文書 トレーサビリティ」			✓	✓
2.3.5	認証製品として販売された数量の購入および販売に関する書類には、認証数量と非認証数量の両方について、国レベルの原産地情報が含まれていなければならない。これは、オリジン・マッチング規則が義務付けられているカカオのマスバランス製品にのみ適用される。 参考資料：「A-05-SCRL-B-CH 付属文書 トレーサビリティ」			✓	✓

次のページに進む前に、要件とその適用性を読む

2.3.1

数量は、現実に起こり得る加工方法に対してのみ変換される。

認証された数量を通常の（認証ではない）数量に変換することは、**同一製品**または**物理的な加工の方向においてのみ**認められます。

個別認証農場の責任者であるアミーナが**利用できる**変換の例を見てみましょう。

- 認証生鮮果実、ココナッツから通常のコプラへ
- 認証コプラから通常のココナッツ原油へ
- 認証された殻付きヘーゼルナッツから通常のヘーゼルナッツ仁（カーネル）へ
- 認証ヘーゼルナッツ仁（カーネル）から通常の焙煎ヘーゼルナッツ仁（カーネル）へ

参照：付属文書 トレーサビリティ

2.3.1

後方変換はできない

なお、物理的な加工ラインでは、以前の製品に戻して 製品を変換することは **できません。**

アミーナが**利用できない**変換の例を見てみましょう。

- 認証ココナッツ原油から通常のコプラへ
- 認証ココナッツ原油から通常の生鮮果実、ココナッツへ
- 認証ヘーゼルナッツ・仁（カーネル）から従来の殻付きヘーゼルナッツへ
- 認証焙煎ヘーゼルナッツ仁（カーネル）から通常のヘーゼルナッツ仁（カーネル）へ

参照：付属文書 トレーサビリティ

2.3.2

マスバランスとして販売される数量は、認証済みとして購入された数量で100%カバーされている。

ソニアが、彼女の団体のトレーサビリティにマスバランス（MB）を適用する場合、彼女はそれを保証する必要があります。

- **認証として** 販売される生産量**の** 100%は、**十分な量の認証入荷量**でまかなわれています。

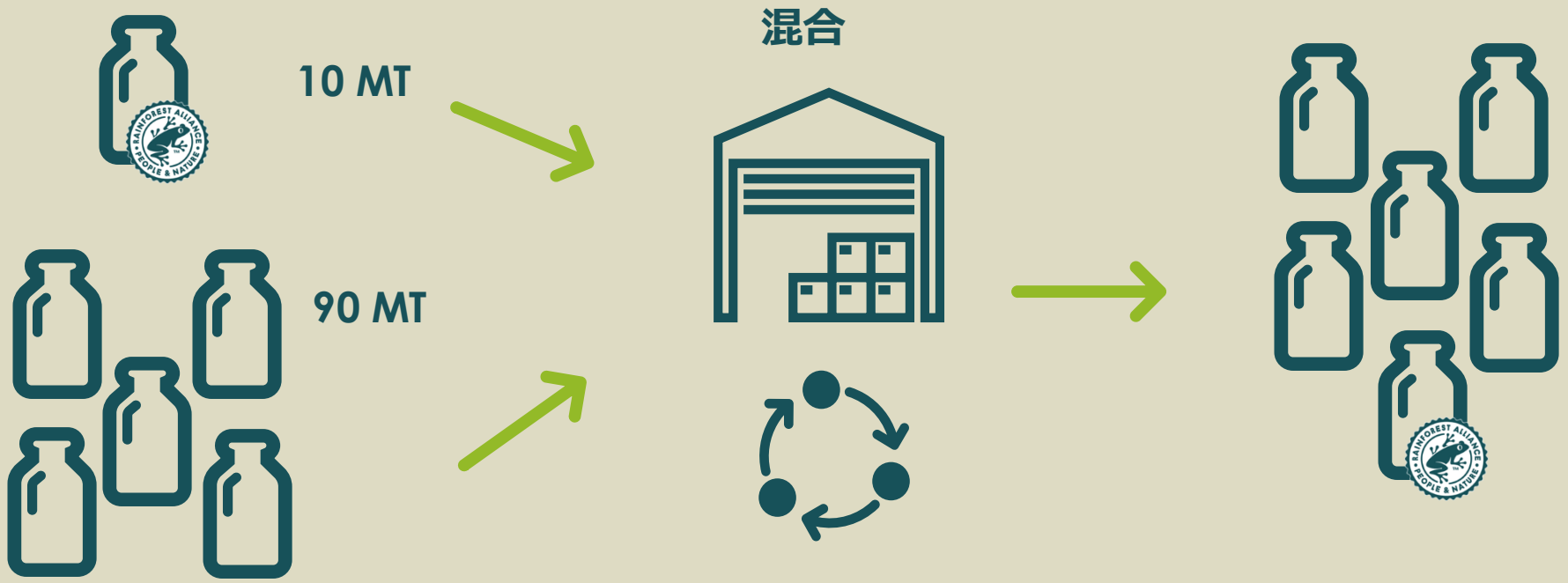
数量の残高がマイナスになることは、いかなる時も認められていません。

2.3.2

生産量は入荷量に比例する必要がある。

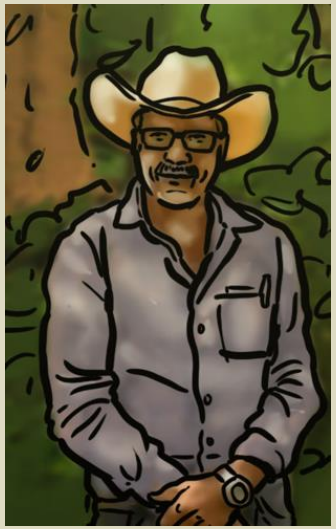
例えば、認証保有者が**10MTの認証ココナッツ油を**生産し、**90MTの非認証ココナッツ油**（合計100MT）と共に保管します。認証保有者は、在庫から**最大10MTを**持ち出し、認証品であると表示することができます。

あるいは、合計100MTのココナッツオイルをさらに加工するために出荷し、10MTのココナッツオイルを認証、90MTを非認証と表示することもできます。



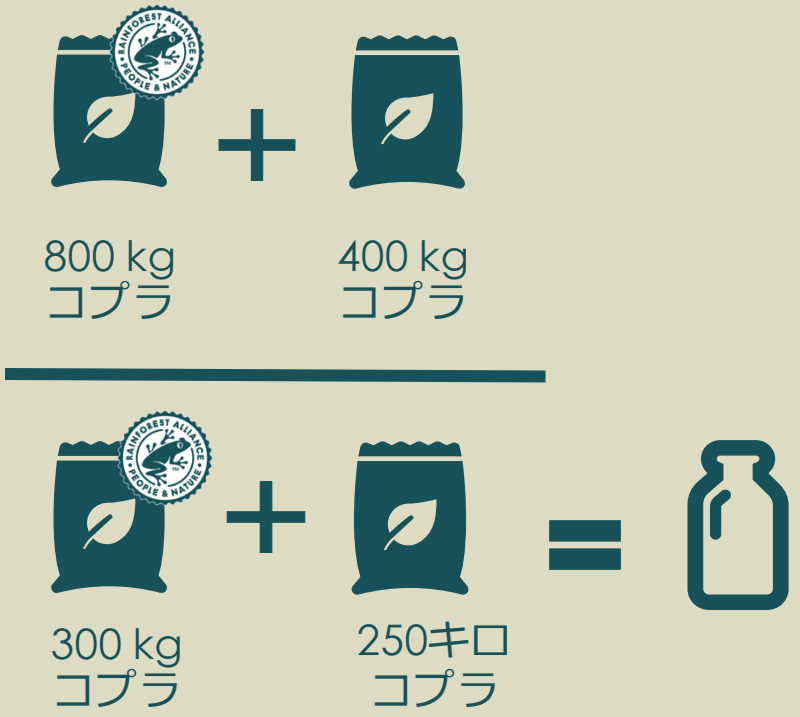
ケーススタディ

要件2.3.2をよりよく理解するために、例を見てみましょう。



あるココナッツ加工工場は、認証コプラ**800kg**と非認証コプラ**400kg**を農家のジェームズから**購入しました。**

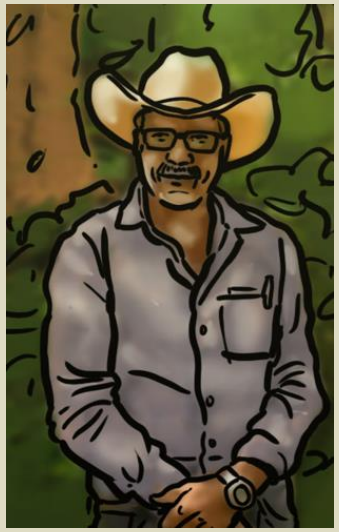
この工場では、認証コプラ**300kg**と非認証コプラ**250kg**を使用して、**1バッチのココナッツ原油**を製造しました。



工場はこのバッチを認証されたココナッツ原油として販売できますか？

次のページに進む前に答えを考えましょう。

ケーススタディ - 回答



答えは 「はい」でです。工場は認証されたココナッツ原油を販売することができます。

工場では**300kgのコプラを使用**しましたが、それでもまだ**500kgのコプラが残っています。**

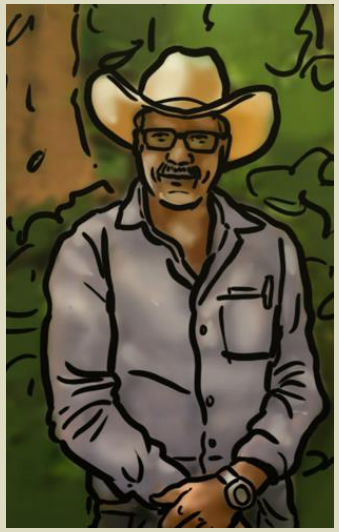
コプラからココナッツ原油への転換率は **0.62**です。

つまり、500kg のコプラは310kg のココナッツ原油に換算できます。

工場はこの認証**数量クレジットを使って**、ココナッツ原油の 生産に使われた非**認証コプラ 250kg 分を**まかなうことができます。

従って、 このエ場は、認証されたココナッツ原油を販売するために必要な全ての 量を認証クレジットでカバーしています。

ケーススタディ　さらなる考慮



マスバランス（MB）を適用する場合は、現実に行われる換算に従って、**慎重に数量クレジットを計算する**必要があります。

ココナッツの例を見てみましょう。

- 新鮮なココナッツはコプラに加工されます。
- その後、コプラはココナッツ原油に加工されます。
- ココナッツ原油は、さらに精製油(RBDまたは硬化油)に加工されます。

したがって、**認証ココナッツ油の数量クレジット**を所有している場合、生鮮ココナッツはココナッツ油から生産されたものではないため、　認証**ココナッツ**として表示するためにこのクレジットを使用する**ことはできません** 。

ケーススタディ

要件**2.3.3**について、**マスバランス（MB）**のトレーサビリティの種類を使用してレインフォレスト・アライアンス認証ヘーゼルナッツを販売している2つの農場認証保有者の例を通して理解しましょう。

農場Aと農場Bは、レインフォレスト・アライアンス認証ヘーゼルナッツと通常のヘーゼルナッツの両方を栽培・販売しています。

農場Aは収穫総量が予想よりはるかに**少なかった**ため、認証ヘーゼルナッツの需要を満たすために**農場Bから認証**ヘーゼルナッツを**購入する**ことにしました。

農場Bはヘーゼルナッツを農場Aに出荷し、販売を完了します。

これは許されるでしょうか？

次のページに進む前に答えを考えましょう。

ケーススタディ - 回答

答えは「はい」です。これは可能です。

2つ**の異なる認証保有者が**数量の売買を希望する場合、**対応する製品の物理的な出荷が**なければなりません。

農場Bは、農場Aにヘーゼルナッツを出荷しなければなりません。

2.3.4

認証済みとして販売される数量は、原産国情報の最小パーセンテージ要件を満たさなければなりません。

原産国一致の要件は、 企業が、**認証取得や購入が容易**な国から認証数量を購入し、**その認証数量をクレジットとして使用することで**（認証製品の取得が困難な原産国の）**非認証製品を認証製品として販売することを**防止することを目的としています。

原産国情報が記載された購入・販売書類によって、ルールの遵守を証明する必要があります。例えば、 認証カカオ豆の販売請求書**には** 、その豆が**どの国の原産**であるかを記載する必要があります。

参照：付属文書 トレーサビリティ

RAINFOREST ALLIANCE

rainforest-alliance.org